

産業構造審議会 地域経済産業分科会 工業用水道政策小委員会
工業用水道事業の経営基盤強化等に向けたワーキンググループの設置について

令和 6 年 9 月 6 日
経済産業政策局
地域産業基盤整備課

1. ワーキンググループ設置の背景

- 我が国の工業用水道は、高度成長期に顕著となった地下水の汲上による地盤沈下等を防止するための代替水供給として、また、均衡ある国土開発及び工業の再配置等の一翼を担う重要な産業インフラとして、その整備が推進されてきた。
- しかしながら、近年では 70 年代～80 年代に整備された施設の老朽化に対応するための適切な更新、頻発・激甚化する災害への備えが急務となっている。
- このため、サステナブルな工業用水道事業の実現に向け、2024 年 3 月から産業構造審議会地域経済産業分科会工業用水道政策小委員会にて検討をおこなってきた。
- 小委員会で示された方向性の具体化を図るため、有識者によるワーキンググループを工業用水道政策小委員会の下に設置する。

2. 検討事項

- (1) 今後大量に見込まれる更新・強靱化を着実に実施するための工業用水道事業者に策定を促す計画内容及び実効性を持たせるための仕組み
- (2) 工業用水道事業における経営のあり方(今後の水需要の見込み方、料金制度のあり方)
- (3) その他

3. スケジュール(案)

- 第1回 (9 月 6 日) : 工業用水道事業の現状把握等
第2回 (11 月 1 日) : 現状・課題を踏まえたサステナブルな工業用水道事業の実現に向けた具体的な方向性
第3回 (12 月 4 日) : 更新・耐震・アセットマネジメント指針改訂案の提示等
第4回 (12 月 20 日) : とりまとめ